

消防救第 4 8 号
平成 18 年 3 月 31 日

各都道府県消防防災主管部長 殿

消防庁救急企画室長

患者等搬送事業指導基準等の一部改正について

現在、寝たきり老人、身体障害者、傷病者等（以下「患者等」という。）を対象に、これらの者の医療機関への入退院、通院及び転院並びに社会福祉施設への送迎に際し、ベッド等を備えた専用車（以下「患者等搬送用自動車」という。）を用いて搬送を実施する事業（以下「患者等搬送事業」という。）は、「患者等搬送事業指導基準等の作成について」（平成元年 10 月 4 日付け消防救第 116 号消防庁救急救助課長通知）に基づき、各消防本部において認定を受け、質的向上が図られており、国民意識の変化や高齢化の進展等を背景にますます普及し、緊急性のない患者等の搬送において社会的にも一定の役割を担っている。

近年、社会的ニーズの高まりに対応して、ベッド等を備えた専用車のみならず、車椅子のみが固定できる車両により患者等の搬送を行う事業が増加してきており、このような事業についても質的向上を図る必要が生じていることから、平成 18 年 3 月に取りまとめられた「救急搬送業務における民間活用に関する検討会報告書（参考資料）における指摘を踏まえ、患者等の搬送を行う事業者が、業務の質を担保しつつ、より円滑に事業を行えるよう、別添のとおり「患者等搬送事業指導基準」及び「患者等搬送事業認定基準」の一部を改正することとした。

については、下記の変更内容及び留意事項にご留意のうえ、貴管下市町村（消防の事務を処理する組合を含む。）に周知されるとともに、趣旨の徹底を図られたい。

記

1 患者等搬送用自動車の要件

現行の基準による患者等搬送用自動車の認定においては、ストレッチャーを確実に固定できる構造であることが要件とされているが、これに加えて、車椅

子のみを固定できる自動車についても、患者等搬送用自動車（車椅子専用）として認定することとする。なお、車椅子のみを固定できる患者等搬送用自動車により患者等の搬送を行う場合には、乗務員 1 名で対応する場合が考えられるため、乗降を容易にするための設備（スロープ、リフト等）を自動車に備えることとする。

2 運行体制

患者等搬送事業者は、車椅子のみを固定できる患者等搬送用自動車 1 台につき、1 名以上の乗務員をもって業務を行わせることができることとする。ただし、搬送中に患者等の容態が急変する可能性が高い等の理由から 1 名での搬送が困難な場合においては、医師を同乗させる、乗務員を増員する等、安全に搬送できる体制をとることとする。

3 乗務員の要件

車椅子のみを固定できる患者等搬送用自動車で行う乗務員に対して消防機関が行う講習は、16 時間とする。

4 積載資器材

車椅子のみを固定できる患者等搬送用自動車に積載すべき資器材について、バッグバルブマスク、敷物、まくら、ピンセット、自動体外式除細動器（AED）は任意で積載するものとする。なお、平成 16 年 7 月より一般市民も使用可能となった AED については、従来のストレッチャー等を固定できる患者等搬送用自動車にも積載することが望ましい資器材として追加する。

5 認定マーク等

車椅子のみを固定できる患者等搬送用自動車により患者等の搬送を行う事業については、事業者認定マーク、自動車認定マーク及び乗務員適任証を、ストレッチャーを固定できる患者等搬送用自動車により患者等の搬送を行う事業とは区別すること。

以上

別添 1 患者等搬送事業指導基準

1 共通事項

指 導 事 項	指 導 内 容
1 事業実施の基本原則	<p>(1) 患者等搬送事業を行う者（以下「患者等搬送事業者」という。）は、患者等からの通報の適正処理及び患者等の搬送技能の向上に努めること。</p> <p>(2) 患者等搬送事業者は、緊急性のない者を搬送対象とすること。</p> <p>(3) 患者等搬送事業者は、事業の社会的責任を十分自覚し、関連法規を遵守すること。</p>
2 消防機関との連携	<p>患者等搬送事業者は、次の各号の一に該当する場合は、119番等により、患者等の居る場所、状態、既往症、掛かり付けの医療機関等を消防機関に通報し、救急自動車を要請すること。</p> <p>患者等からの要請時点において、緊急に医療機関へ搬送が必要である場合。なお、この場合は、併せて患者等搬送用自動車に同乗し搬送業務に従事する者（以下「乗務員」という。）を派遣すること。</p> <p>要請者の依頼場所に到着時点において、緊急に医療機関に搬送する必要がある場合。</p> <p>患者等の搬送途上において、緊急に医療機関に搬送する必要がある場合。</p>
3 定期講習	<p>患者等搬送事業者は、乗務員の応急手当技能を適切に管理するため、患者等搬送乗務員適任証（以下「適任証」という。）の交付を受けた乗務員に、2年に1回以上消防機関の行う別記第3に掲げる定期講習を受講させること。</p>
4 車両の外観	<p>患者等搬送用自動車は、サイレン又は赤色警告灯を装備するなど、救急自動車と紛らわしい外観を呈していないこと。</p>
5 消毒	<p>患者等搬送用自動車及び積載資器材の消毒は、次により行うこと。</p> <p>定期消毒 毎月1回以上</p> <p>使用後消毒 毎使用後</p> <p>医師から消毒について特別な指示があった場合は、指示に基づいた消毒を行うこと。</p>
6 衛生・安全管理	<p>(1) 患者等搬送用自動車及び積載資器材については、点検整備を確実にし、清潔保持に努めること。</p> <p>(2) 乗務員の服装は、患者等搬送業務にふさわしいものとし、清潔の保持に努めること。</p>
7 事業案内	<p>パンフレット等の事業案内には、救急隊と同レベルの活動ができるかのような表現はさけること。</p>

2 個別事項

(1) ストレッチャー及び車椅子等を固定できる自動車による患者等搬送事業

指 導 事 項	指 導 内 容
1 乗務員の要件	乗務員は満18才以上の者で、次の各号のいずれかに該当する者をもって充てること。 (1) 別記第1の1に掲げる消防機関が行う講習を修了した者。 (2) 別記第2に掲げる前号の者と同等以上の知識及び技能を有する者
2 患者等搬送乗務員適任証の交付	(1) 消防長は、1の(1)及び(2)の該当者に対して、別記様式第1号に定める適任証を交付すること。 (2) 適任証の有効期間は、2年間とすること。ただし、上記共通事項の3で定める定期講習を受けた者についてはさらに2年間有効とし、それ以降も同様とすること。
3 適任証の携行	乗務員は、搬送業務に従事するときは、適任証を携帯すること。
4 運行体制	患者等搬送事業者は、患者等搬送用自動車1台につき2名以上の乗務員をもって業務を行わせること。 ただし、退院等を目的とした運行をする場合、又は医師若しくは看護師等が同乗する場合は、乗務員を1名とすることができること。
5 患者等搬送用自動車の要件	患者等搬送用自動車は、次の各号に掲げる構造及び設備を有するものであること。 十分な緩衝装置を有すること。 換気及び冷暖房の装置を有するものであること。 乗務員が業務を実施するために必要なスペースを有するものであること。 ストレッチャー及び車椅子等を使用したまま確実に固定できる構造であること。 携帯が可能な通信機器等、連絡に必要な設備を有していること。
6 積載資器材	患者等搬送用自動車には、別記第4の1に掲げる資器材を積載すること。

(2) 車椅子のみを固定できる自動車による患者等搬送事業

指 導 事 項	指 導 内 容
1 乗務員（車椅子専用）の要件	<p>車椅子のみを固定できる患者等搬送用自動車（以下「患者等搬送用自動車（車椅子専用）」という。）に同乗し搬送業務に従事する者（以下「乗務員（車椅子専用）」という。）は満18才以上の者で、次の各号のいずれかに該当する者をもって充てること。</p> <p>(1) 別記第1の2に掲げる消防機関が行う講習を修了した者。</p> <p>(2) 別記第2に掲げる前号の者と同等以上の知識及び技能を有する者</p>
2 患者等搬送乗務員適任証（車椅子専用）の交付	<p>(1) 消防長は、1の(1)及び(2)の該当者に対して、別記様式第2号に定める患者等搬送乗務員適任証（車椅子専用）（以下「適任証（車椅子専用）」という。）を交付すること。</p> <p>(2) 適任証（車椅子専用）の有効期間は、2年間とすること。ただし、上記共通事項の3で定める定期講習を受けた者についてはさらに2年間有効とし、それ以降も同様とすること。</p>
3 適任証（車椅子専用）の携行	<p>乗務員（車椅子専用）は、搬送業務に従事するときは、適任証（車椅子専用）を携帯すること。</p>
4 運行体制	<p>患者等搬送用自動車（車椅子専用）を用いて搬送を実施する事業（以下「患者等搬送事業（車椅子専用）」という。）を行う者（以下「患者等搬送事業者（車椅子専用）」という。）は、患者等搬送用自動車（車椅子専用）1台につき1名以上の乗務員（車椅子専用）をもって業務を行わせること。</p> <p>ただし、搬送中に容態急変の可能性が高い場合等については、医師等を同乗させる、又は乗務員（車椅子専用）数を2名以上とする等、対応に必要な体制を確保すること。</p>
5 患者等搬送用自動車（車椅子専用）の要件	<p>患者等搬送用自動車（車椅子専用）は、次の各号に掲げる構造及び設備を有するものであること。</p> <p>十分な緩衝装置を有すること。</p> <p>換気及び冷暖房の装置を有するものであること。</p> <p>乗務員（車椅子専用）が業務を実施するために必要なスペースを有するものであること。</p> <p>車椅子を使用したまま確実に固定できる構造であること。</p> <p>車椅子の乗降を容易するための装置を備えていること。</p> <p>携帯が可能な通信機器等、連絡に必要な設備を有していること。</p>
6 積載資器材	<p>患者等搬送用自動車（車椅子専用）には、別記第4の2に掲げる資器材を積載すること。</p>

別添 2 患者等搬送事業認定基準

1 共通事項

認定手続	手続き内容等
1 認定対象となる患者等搬送事業者	<p>認定対象となる患者等搬送事業者は、道路運送法に定める次の者とする。</p> <p>一般乗用旅客自動車運送事業の許可を受けた者 一般貸切旅客自動車運送事業の許可を受けた者 特定旅客自動車運送事業の許可を受けた者</p>
2 認定の申請	<p>認定を受けようとする患者等搬送事業者は、当該事業所を管轄する消防長に対し認定を申請するものとする。</p>
3 認定の審査	<p>消防長は、別記第 5 に示す認定審査基準表により審査を行うものとする。</p>
4 認定の有効期間	<p>認定の有効期間は、認定を受けた日の翌日から起算して 5 年とする。</p>
5 認定の更新	<p>(1) 認定審査基準に適合した患者等搬送事業者（以下「認定業者」という。）は、認定の有効期間の満了後も引き続き認定を受けようとするときは、消防長に更新を申請するものとする。</p> <p>(2) 更新時の手続きは、認定時の手続きを準用するものとする。</p>
6 認定マークの亡失等	<p>認定業者は、認定マークを亡失し、又は滅失したときは、速やかに消防長に届け出て認定マークの再交付を受けることができるものとする。</p>
7 事業の休止等	<p>認定業者は、患者等搬送事業の全部若しくは一部を休止し、又は廃止したときは、消防長に届け出るものとする。</p>
8 認定の失効	<p>次の各号の一に該当するときは、認定はその効力を失うものとする。</p> <p>道路運送法に定めるところにより、国土交通大臣の許可等が取り消され又は失効したとき。</p> <p>患者等搬送事業を廃止したとき。</p> <p>認定の有効期間が満了したとき。</p>
9 認定業者の責務	<p>(1) 認定業者は、指導基準を誠実に履行しなければならない。</p> <p>(2) 認定業者は、患者等搬送業務実施中、搬送業務の遂行に支障を及ぼす重大な事故を発生させたときは、消防長に報告するものとする。</p>
10 認定業者の調査	<p>消防長は、少なくとも年 1 回以上認定業者に対し、指導基準の履行状況について調査するものとする。</p>
11 認定の取り消し	<p>消防長は、次の各号の一に該当するときは、認定を取り消すことができる。</p> <p>(1) 認定業者が指導基準を遵守しないとき。</p> <p>(2) 業務の遂行に当たって、重大な事故を発生させたとき。</p> <p>(3) その他、認定を継続することが、不相当と判断されるとき。</p>

2 個別事項

(1) ストレッチャー及び車椅子等を固定できる自動車による患者等搬送事業

認 定 手 続	手 続 き 内 容 等
1 認定マークの交付	(1) 消防長は、認定業者に対し、別図 1 に示す患者等搬送事業者認定マーク及び別図 2 に示す患者等搬送用自動車認定マークを交付するものとする。 (2) 消防長は、審査の結果、認定しない場合は、その理由を付して患者等搬送事業者へ通知するものとする。

(2) 車椅子のみを固定できる自動車による患者等搬送事業

認 定 手 続	手 続 き 内 容 等
1 認定マークの交付	(1) 消防長は、認定審査基準に適合した患者等搬送事業者（車椅子専用）（以下「認定業者（車椅子専用）」という。）に対し、別図 3 に示す患者等搬送事業者認定マーク（車椅子専用）及び別図 4 に示す患者等搬送用自動車認定マーク（車椅子専用）を交付するものとする。 (2) 消防長は、審査の結果、認定しない場合は、その理由を付して患者等搬送事業者へ通知するものとする。

別記第1 消防機関の行う講習

1 消防機関の行う講習 [乗務員]

課 目	時 間 数
総論	1
観察要領及び応急措置 (一定頻度者が受講する講習と同等の内容を含む)	13
体位管理要領	2
消防機関との連携要領	2
車両資器材の消毒及び感染防止要領	2
搬送法	2
修了考査	2
合 計	24

* 課目の1時間は、45分とする。

2 消防機関の行う講習 [乗務員 (車椅子専用)]

課 目	時 間 数
総論	1
観察要領及び応急措置 (一定頻度者が受講する講習と同等の内容を含む)	9
体位管理要領	1
消防機関との連携要領	2
車両資器材の消毒及び感染防止要領	1
搬送法	1
修了考査	1
合 計	16

* 課目の1時間は、45分とする。

3 講師

上記に掲げる講習の講師は、次のいずれかに該当する者をもって充てるものとする。

救急隊長として3年以上の実務経験を有する者で、消防長が適任と認めた者

消防大学校の救急科課程の修了者で、消防長が適任と認めた者

消防学校の救急科課程の教官として2年以上の経験を有する者で、消防長が適任と認めた者

4 乗務員の修了考査実施基準

修了考査は次の内容とし、80点以上を以て合格とする。

区 分	課 目	配 点
実 技	観察要領及び応急措置	60点
筆 記	消防機関との連携要領	20点
	車両資器材の消毒及び 感染防止要領	20点
合 計		100点

別記第2 消防機関の行う適任者講習を修了した者と同等以上の知識及び技能を有する者

次表の通り

	分 類
1	救急救命士の資格を有する者及び消防法施行規則第51条に定める救急業務に関する講習課程を修了した者。
2	日本赤十字社の行う応急処置に関する講習を受けた者で、資格の有効期間内の者。 ただし、消防機関の行う適任者講習に不足する課目については、消防機関の行う講習を受講すること。
3	上記、1及び2に掲げる者以上の知識及び技能を有すると消防長が認めた者。

別記第3 定期講習

1 定期講習は、次の表に掲げるものとする。

課 目	時 間 数
観察要領及び応急措置	2
体位管理要領	1
合 計	3

* 課目の1時間は、45分とする。

2 講 師

適任者講習と同じ。

別記第4 患者等搬送用自動車に積載する資器材

1 患者等搬送用自動車に積載する資器材

項 目	資 器 材 名
呼吸管理用資器材	バッグバルブマスク ポケットマスク
保温・搬送用資器材	敷物 保温用毛布 担架 まくら
創傷等保護用資器材	三角巾 ガーゼ 包帯 タオル ばんそうこう
消毒用資器材（車両・資器材用）	噴霧消毒器 各種消毒薬
その他の資器材	はさみ マスク ピンセット 手袋 膿盆汚物入れ 体温計 A E D

「 」は任意の積載とする。

2 患者等搬送用自動車（車椅子専用）に積載する資器材

項 目	資 器 材 名
呼吸管理用資器材	バッグバルブマスク ポケットマスク
保温・搬送用資器材	敷物 保温用毛布 担架 まくら
創傷等保護用資器材	三角巾 ガーゼ 包帯 タオル ばんそうこう
消毒用資器材（車両・資器材用）	噴霧消毒器 各種消毒薬
その他の資器材	はさみ マスク ピンセット 手袋 膿盆汚物入れ 体温計 A E D

「 」は任意の積載とする。

別記第5 認定審査基準表

事業所名			
所在地		電話 ()	
管理責任者・職氏名			
自動車の形態		患者等搬送用自動車 患者等搬送用自動車(車椅子専用)	
審査項目		判定	不適内容
1	乗務員の資格要件	適・不適	
2	1台あたりの乗務体制	適・不適	
3	患者等搬送用自動車	(1) 緩衝装置	適・不適
		(2) 換気及び冷暖房装置	適・不適
		(3) 室内のスペース	適・不適
		(4) ストレッチャー又は車椅子の固定	適・不適
		(5) 乗降を容易にする装置	適・不適
		(6) 通信、連絡装置	適・不適
4	車両の外観	適・不適	
5	積載資器材	適・不適	
6	車両・資器材の消毒体制	適・不適	
7	乗務員の服装	適・不適	
8	パンフレット等の表示	適・不適	
9	事業の許可状況	適・不適	
備考			

別図1

患者等搬送事業者認定マーク



患者等搬送に適合する事業者
として認定する。

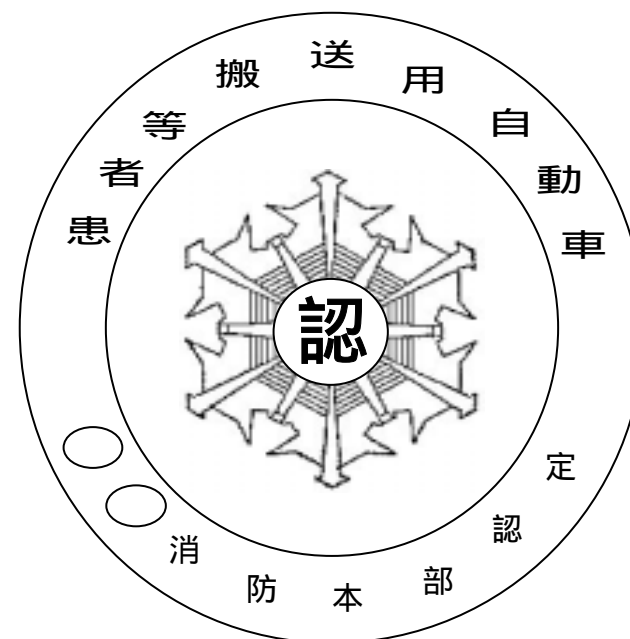
消 防 本 部

地・・・・・・緑色、文字・・・・・・黒色、マーク・・・・・・金色

横23.7cm、縦36cm

別図2

患者等搬送用自動車認定マーク



患者等搬送用自動車認定マークは、自動車後面であって
運転者の視野を妨げない見やすい位置に貼付するものと
する。

地 —— 緑色、文字 —— 黒色、マーク —— 金色


直径 —— 9cm

別記様式第1号

患者等搬送乗務員適任証

表紙(裏)

(表)

<p>患者等搬送業務に従事する場合は必ず携帯すること。</p>	<p style="text-align: right;">第 号</p>  <p>患者等搬送乗務員 適任証</p> <p>消 防 本 部</p>
---------------------------------	--

200 mm

70 mm

(注) 地色は水色とし、文字は黒色とする。

内側(第1面)

(第2面)

<p>(ふりがな) 氏 名</p> <p>年 月 日生</p> <p>本籍地</p> <p>都道府県</p> <p>年 月 日交付</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>写真</p> <p style="text-align: center;">押 出 スタンプ 消防本部</p> </div> <p>上記の者は、患者等搬送乗務員に適することを証する。 消防本部長</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4" style="text-align: center;">再講習受講欄</th> </tr> <tr> <th style="width: 25%;">年 月 日</th> <th style="width: 25%;">実施本部</th> <th style="width: 25%;">年 月 日</th> <th style="width: 25%;">実施本部</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>	再講習受講欄				年 月 日	実施本部	年 月 日	実施本部																				
再講習受講欄																													
年 月 日	実施本部	年 月 日	実施本部																										

200 mm

70 mm

別図3

患者等搬送事業者認定マーク
(車椅子専用)



患者等搬送(車椅子専用)に適合する事業者として認定する。

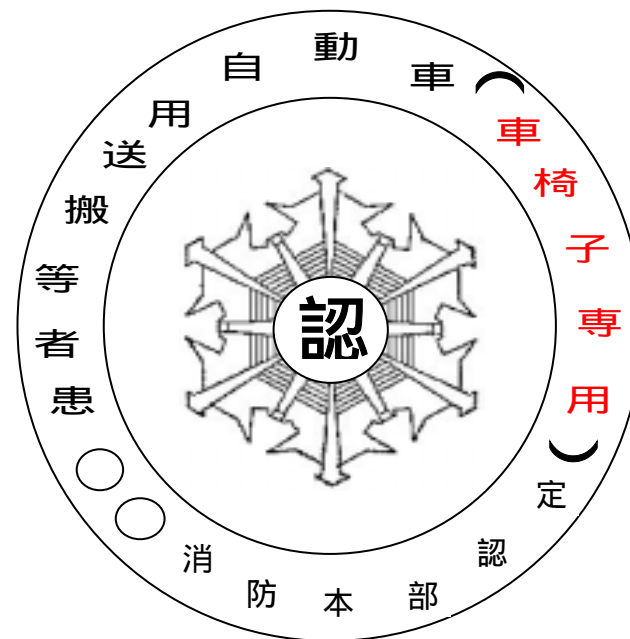
消 防 本 部

地・・・ピンク色、文字・・・黒色、マーク・・・金色

横23.7cm、縦36cm

別図4

患者等搬送用自動車認定マーク
(車椅子専用)



患者等搬送用自動車認定マーク(車椅子専用)は、自動車後面であって運転者の視野を妨げない見やすい位置に貼付するものとする。

地 ——— ピンク色、文字 ——— 黒色、マーク ——— 金色

直径 ——— 9cm

別記様式第2号

患者等搬送乗務員適任証（車椅子専用）

表紙（裏）

（表）

<p>患者等搬送業務に従事する場合は必ず携帯すること。</p>	<div style="text-align: right; margin-bottom: 10px;">第 号</div> <div style="text-align: center;">  <p>患者等搬送乗務員 適任証 (車椅子専用)</p> <p>消 防 本 部</p> </div>
---------------------------------	--

200 mm

70 mm

（注） 地色はピンク色とし、文字は黒色とする。

内側(第1面)

(第2面)

<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 150px; height: 100px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">写真</p> <p style="text-align: center;">30 mm</p> <p style="text-align: center;">40 mm</p> </div> <p>押出 スタンプ 消防本部</p> <p>上記の者は、患者等搬送乗務員 (車椅子専用)に適することを証する。</p> <p style="text-align: right;">消 防 本 部 長</p>	<p style="text-align: center;">(ふりがな)</p> <p>氏 名</p> <p style="text-align: center;">年 月 日生</p> <p>本籍地</p> <p style="text-align: center;">都道府県</p> <p style="text-align: center;">年 月 日交付</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th colspan="4" style="text-align: center;">再 講 習 受 講 欄</th> </tr> <tr> <th style="width: 25%;">年 月 日</th> <th style="width: 25%;">実施本部</th> <th style="width: 25%;">年 月 日</th> <th style="width: 25%;">実施本部</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>	再 講 習 受 講 欄				年 月 日	実施本部	年 月 日	実施本部																								
再 講 習 受 講 欄																																	
年 月 日	実施本部	年 月 日	実施本部																														

200 mm

70 mm